

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度		
施設名	鉢立山荘	設置年	昭和 63 年
所在地	にかほ市象潟町小滝字鉢立地内		
指定管理者	にかほ市		
県所管課	自然保護課	調整・自然環境	チーム

1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の増進を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設置したもので、鳥海国定公園の鳥海ブルーライン五合目に位置し、登山者を中心とした簡易宿泊、緊急時の避難小屋として利用できる。							
県の施策上の施設の位置付け	<p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理</p> <p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加</p>							
施設の面積	建築面積177.60m ² 、延床面積199.61m ²							
主な設置施設	宿泊施設							
指定管理業務の内容	料金制	有 (利用料金併用制・完全利用料金制) <input checked="" type="radio"/> 無 (指定管理料制)						
	料金設定	料金については別紙参照						
	サウンディング実施対象施設※	×						
	指定期間	令和3年4月1日		～	令和8年3月31日			
	営業期間・時間	4月28日～10月31日・営業時間は原則常時業務						
	鉢立山荘に関する次の業務 ①施設の使用許可等に関する業務 ②施設および設備の維持管理に関する業務 ③その他、山荘の管理に関し知事が必要と認める業務							
自主事業の内容	鳥海山の自然や歴史に関する展示							
直近3年の年間利用者数	R3	638 人	R4	877 人	R5 1,128 人			
直近3年の年間利用収入	R3	1,130 千円	R4	1,579 千円	R5 1,831 千円			
直近5年の収支決算(単位:千円)	R元	R2	R3	R4	R5			
収入計	5,084	6,192	6,699	7,275	6,254			
利用料金収入								
指定管理料	1,230	1,253	1,253	1,253	1,253			
その他収入	418	147	148	297	349			
市費	3,436	4,792	5,298	5,725	4,652			
支出計	5,084	6,192	6,699	7,275	6,254			
人件費	3,062	4,349	4,907	4,882	4,756			
光熱水費	2,022	1,843	1,792	2,393	1,396			
修繕費								
外部委託費								
その他経費					102			
差引	0	0	0	0	0			

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

＜観点 I＞ 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があつたか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

（R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなつてゐるため、それまでは記載不要）

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和5年度 の目標	利用者に対し、施設の健全な管理・運営を図り、安全で安心できる休憩所を提供する。また、天候の変化が著しい環境下に位置することから、正確な防災情報等の収集に努め、利用者に対し情報を提供する。
--------------	---

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	1,128	達成率	112.8%	/	
	具体的な 取組と その効果	鳥海山の登山道の情報や花の状況をHP等で定期的に発信、またライブカメラでリアルタイムの状況を発信することにより、足を運びやすい環境を整備した。それにより昨今のアウトドアブームも相まって、天気の良い日に多くの人が訪れた。				
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標	1,300	500	1,000		
	実績	458	638	877		
	達成率	35.2%	127.6%	87.7%		
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数1,000人				
	設定根拠	コロナ禍前の利用者数を安定的に獲得するため。				

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

＜観点 I＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	目標数を超えることができた。 今後も情報発信を県内外に継続して取り組みたい。
県 (所管課)	A		宿泊者数は増加しており、数値目標を達成している。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A:目標達成（数値目標の場合は100%以上）

B:A及びC以外

C:目標達成に向けて改善が必要（数値目標の場合は80%未満）

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があつたか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	98.0%	
	具体的な 取組と その効果	アンケート調査の結果を区分けし、要望等については優先順位をつけ対応してきた。また、苦情等に関しては、管理人に随時指示等を行い、利用客の満足度に繋げている。	
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度
	98.0%	98.8%	96.9%

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	利用者の増加とともにいろんな意見が出てきている。今後更なる利用者の満足度向上のため要望等を聞き入れ、より良い施設にしていきたい。
県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。	

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があつたか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	施設の修繕に費やす金額が例年に比べて大幅に増加した。
	具体的な 取組と その効果	優先順位を定めて、早急に修繕するべき部分から直していく。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があつたか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	アウトドアアクティビティの注目度が高まり、宿泊者も大幅に増加した。
	具体的な 取組と その効果	無料の広告媒体での宣伝等を行い、新しい利用者の確保に努めた。リピーターはもちろんだが、団体利用者や新しい利用者が大幅に増えた。

＜観点Ⅲ＞の評価

評価者	評価	コメント
指定管理者	A	利用者は増加したが、節電・節水の心がけにより、光熱水費等の削減を図ることができた。
県 (所管課)	A	宿泊者数が増加する中、経費削減に努めながら管理運営されている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:(1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C:(1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があつたか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	○衛生管理 施設内の水回り、寝具等の衛生管理を徹底しており、宿泊者のアンケートにおいても施設の清潔さを評価するコメントが多数あった。
	○安全対策 日常的に施設の点検をし、必要に応じて修繕を行い、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。
	○危機管理等 緊急時連絡体制を整備している。

＜観点Ⅳ＞の評価

評価者	評価	コメント
指定管理者	B	宿泊施設の衛生管理を徹底し、利用者からも一定の評価を受けている。今後も、過ごしやすい環境を整える。
県 (所管課)	B	適正な管理運営に努めており、重大な問題点は見受けられない。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

鳥海山登山の拠点施設として、自然公園利用者の受け入れに寄与している。また、登山者を中心とした簡易宿泊、緊急時の避難小屋として利用されている。

○施設運営の課題

施設の老朽化

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。